

新しい教会堂が完成しました！！8月24日から礼拝開始！どうぞお越しください！！



**8月24日(日)
10:30~
礼拝スタート**



あなたへ

東八幡キリスト教会は、「全ての人は神さまによって、愛され生かされている」ことを信じる人々の群れです。私たちには、絶望としか思えない日があります。しかし「光は闇の中に輝く」と聖書は言います。希望はあります。苦しむ人と共に苦しみ、泣く人と共に泣く—それがキリストの教会です。私たちは、そのような教会を目指したいと思えます。

共に生きましょう！共に悩みましょう！一緒に祈りましょう！……あなたのお越しを待っています！

人と出会う 軒の教会

東八幡キリスト教会は、「人と人が出会い共に生きる」ことを大切にしています。かつて人生の希望を見いだせず、孤独になり死のうとさえ思いつめた青年が、この教会と出会い、「こんな自分をも神は愛し、赦し、生かしてくださる」と聖書から教えられたことで、今では職場リーダーとなつて多くの仲間と共に、活いきと働くまでになりました。

ある者は3・11を契機に、自らの人生を考え始めていた時、たまたま教会主催の講演会に参加したことから、日曜日の礼拝に顔を出すようになり、若者と壮年の間を繋ぐ存在として、教会奉仕を続けてから3年が経ちます。キリスト教を確立し、世界に広めた伝道者パウロは、最初誰よりも熱心にキリスト教徒を迫害していました。しかし、十字架から復活したイエスと出会ったことで、回心が起こったのでした。キリスト教の最初がそうだったように、私たち教会は、「人が神と人に出会い、新しく生き直す場所」になりたいと思っています。

日本の伝統的な家屋には軒というものがありました。この軒の下に様々な人が集うことで、隣り人を知り、「困った時はお互い様」という価値観が助け合いを生んでいました。かつてこの軒で起こっていたことを教会で再生できないかと考え、軒のある教会を建てました。敷居がほとんどない、入りやすい教会です。

どうぞ、どなたでも気軽に教会にお越しください。この軒の教会で多くの方との出会いがあることを楽しみにしています！



～共に生きるを、共に考える～

会場：東八幡キリスト教会礼拝堂

入場無料 駐車場なし

てづか たかはる
手塚 貴晴



手塚建築研究所主宰
NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」MBS「情熱大陸」など出演多数。
東八幡教会新教会堂の設計者。

人と建築—いのちの出会いの場所で

10/18(土) 15:00

もぎ けんいちろう
茂木 健一郎



脳科学者。NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」初代司会者。『「助けて」と言える国へ』(奥田牧師との共著)他、著書多数。

**生きる意味を見いだすために
脳科学からの洞察**

12/13(土) 15:00

かん さんじゅん
姜 尚中



聖学院大学学長
政治学者、作家
TBS「NEWS23」現解説者。
『悩む力』『心の力』他、著書多数

人は何のために生きるのか

2/28(土) 15:00~
3/1(日) 10:30~

おくだ ともし
奥田 知志



東八幡キリスト教会牧師
NPO 法人「抱樸」理事長

荒生田(あろうだ)塾とは？

「人は何のために生きるのか」。この問いを共に考え、その答えを悩みつつも見つけよう！それが『荒生田塾』です。塾名は教会の地名にあやかりました。教会には、クリスチャン以外にも色々な方が集まってきます。ホームレス支援の活動を知り、助けを求めて来る方。家族や仕事の問題を抱え途方にくれた方、様々な人生を生きてきた人達がお越しになります。

混迷の時代の中で、私たちは、必死にもがいています。自由に幸福に生きたい

ともがいています。でも独りでは辛すぎる。生きづらい世の中です。共に問い、共に答えを探しませんか。こんな時代だからこそ、『人は何のために生きるのか』を聞きたいと思えます。この時代における寺子屋塾のような場所を軒の教会の中に作りました。上記の豪華な講師をお呼びしております。どうぞお越しください。

それぞれの講師には、ご講演の後、奥田牧師との対談をお願いしています。お楽しみに！また、講演会のほかに日常的な「語り場」も準備しています。

(塾長 石山輝久)

<活動概要>

◆ 講演会：「何のために生きるか」に強いメッセージを持った著名な講師をお招きし、講演会やテーマ討論会を行います。

<要事前予約>

◆ 語り場：講演会ではなく、少人数の車座で膝を突き合わせながら「生きる」をテーマに自由に考えるための語り場です。

- 第1回 1月24(日) 土曜日 15時開始(予定)
- 場所 東八幡キリスト教会 ホール
- 内容 姜尚中氏著書の読書会 など

<参加希望者は10月以降に別途募集>

荒生田塾の詳細なご案内は、東八幡キリスト教会のホームページまたは、次号の「『軒の教会』便り」でお知らせいたします。

「軒のある風景」内でもなく、外でもなく

牧師 奥田知志

日本の風景から「軒（のき）」というものが無くなりつつあります。物としての「軒」は、「屋根の下端で、建物の壁面より外に突出している部分」に過ぎません。しかし、その空間が持つ意味は深いものがあつたように思います。軒は人が出会う場所でありました。軒先の縁側に腰かけ、訪ねて来た人とお茶を飲む。そんな風景を懐かしく思います。突然の雨、思わず軒下に駆け込みます。見知らぬ人と一時の雨宿り。恨めしく天を見上げながらも、お互い雨に打たれた同士、何とも言えない共感が生まれたのも軒の下の出来事でした。

軒は不思議な空間です。そこは外のような、内のような場所です。あるいは内と外をつないでくれるような場所です。軒という空間が一つのクッション役を果たして、私達は軒の下で誰かと出会う。中に入るには勇気がいります。かと言って外のままじゃ寂しくつらい。少しだけ勇気を出して軒の下へと一歩踏み込む。「ごめん下さい」と言いつつも、いつでも逃げられる姿勢を保ちつつ、軒に立ち寄るわけですね。それが軒の風景だったと思います。

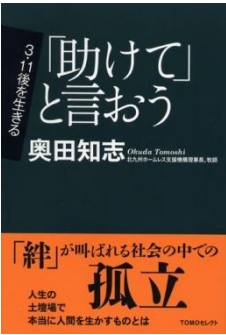
しかし昨今、軒が私達の周りから無くなりました。建築や設計における流行り廃れもあるでしょう。予算の関係で建物を小さくせざるを得ない中、「無駄は省く」とばかりに軒が無くなったのかも知れません。さらに、私は別の理由もあるように思います。それは軒をも含むこの「社会の空気」のようなもの問題です。すなわち私達は他者と出会う、極力他人との関わりを避けるようになってしまったのではないかとこのことを感じます。出会うことに必然も感じることがないわけですから、もはや軒を必要としなくなったのではないかと。内と外、あるいは身内と部外を峻別し、自分自身を守りたいとの一心で家の中に閉じこもり、誰も入れない。そんな生き方が現代人には定着しつつあります。軒の無い風景とは、そんな出会いを忌避した時代の象徴のように私には見えるのです。

そもそもなぜ現代社会は、他人との出会いを避けるようになったのでしょうか。それは端的に言う「心配だから」です。「軒を貸す」ことが「母屋を取られる」事態になる、そんな心配は、昔からあったようです。大体軒を貸してもらいたいと思う時は困っている時です。そんな人に軒を貸すと「損をするに違いない」と多くの人が考えるようになりました。そんな心配から「他人を決して軒に入れない」という「空気」がこの社会を支配するようになったのだと思います。一見自分の「安全や安心」を守るための行為であるように思えますが、結局のところ出会うの無い、実につまらない生き方であり、他者との出合いを拒絶することによって、自らの成長さえ否定する暮らし方になります。なぜならば人は、出合いによって「生き」、出合いの中で「変わる」からです。

れ成長させられました。出会い難い現代社会にあつて、教会は軒が深くなければならぬと思えます。なぜならば、人は出会わなければならぬからです。「一人は一人では生きてはいけない」これは天地創造以来の事実です。神は最初の人アダムを創造しますが、直ぐに「人がひとりであるのは良くない」と仰り、エバを創られました。独りであること、出合いのないことは「良くない」状態だと神は仰るのです。

また、イエス・キリストは軒のような存在です。「イエス」は人の名前、「キリスト」は救い主（神）を意味します。「イエス・キリスト」とは、この方が人であり神であることを示しています。人の領域と神の領域が重なり合うところ、それがイエス・キリストが立たれた場所でありました。それは、内と外が出会う場所、まさに軒の風景でありました。イエス・キリストは、私達と出会うために天国から軒先へと下られた神です。

東八幡キリスト教会は、来年で創立六〇年を迎えようとしています。私達はこれを記念して新しい教会堂の建築をいたしました。私達の目指すものは「出会い」です。ですから、新しい教会堂には、大きな軒を据えました。玄関から礼拝堂に向かう大きな軒が建物の特徴です。



<<奥田牧師の書籍の紹介>>
『もう、ひとりにさせない』(いのちのことば社、2011)
『「助けて」と言おう』(日本キリスト教団出版局、2012)
『「助けて」と言える国へ』(茂木健一郎氏との共著、集英社新書、2013)

東八幡キリスト教会のご案内 お気軽にお訪ねください！！

定例集会

- 主日礼拝(一般の部) 毎週日曜午前10時30分より
- 子ども礼拝(小学生以下の部) 毎週日曜日午前9時30分
- 少年少女会(中高生会) 毎週日曜礼拝後
- 聖書の学びとお祈りの会
夜の部 毎週水曜日午後7時30分
昼の部 毎月第3水曜日午後1時

教会バザー 2014 11月24日(月/休) 午前10時30分~

毎年恒例の教会バザー。教会堂のなかった去年はお休みしましたが、今年はやります！
収益金の一部は、東日本震災復興支援、社会支援活動を行っている団体へ寄付されます。
※品物提供のお願い。10月21日から受け付けます。新品もしくは、それに準ずるものに限らせていただいております(古本やおもちゃは除く)。お電話ください。

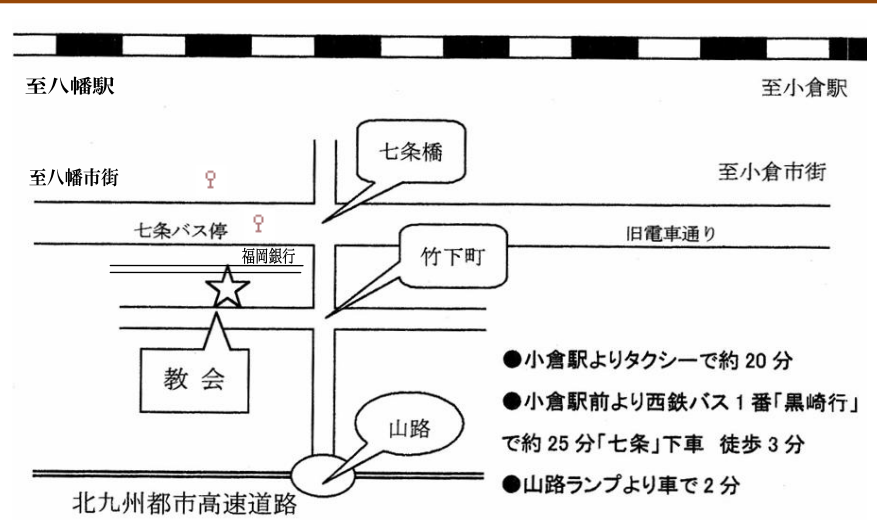
牧師へのご相談 随時受付中！

牧師へのご相談を受け付けています。お困りのこと、誰にも相談できないこと、何でもかまいません。一人で悩まずにご相談ください。ともかく一緒に悩みましょう！
牧師には守秘義務がありますので安心して相談ください。
093-651-6669



2014年度 主な教会行事

- 8月24日(日) 新しい教会堂での最初の礼拝
- 10月18日(土) 荒生田塾第一回講演会 講師：手塚 貴晴氏
- 10月19日(日) 特別伝道集会 宣教：奥田 知志 牧師
- 11月24日(月) 教会バザー 2014
- 12月13日(土) 荒生田塾第二回講演会 講師：茂木 健一郎氏
- 12月14日(日) 特別伝道集会 宣教：奥田 知志 牧師
- 12月21日(日) クリスマス礼拝
- 12月24日(水) クリスマス燭火礼拝
- 1月24日(土) 荒生田塾 第1回 語り場
- 1月25日(日) 特別伝道集会 宣教：奥田 知志 牧師
- 2月28日(土) 荒生田塾第三回講演会 講師：姜尚中氏
- 3月 1日(日) キリスト教特別講演会 聖書のお話：姜尚中氏



〒805-0015 北九州市八幡東区荒生田2丁目1番40
電話 FAX (093)651-6669
Email: higashiyahata.ch.1955@nifty.com
牧師：奥田 知志 石橋 誠一
協働牧師：藤田 英彦 森松 長生 牧野 新